

議論が始まったのを受けて、「軽度者のサービス切り下げや利用料の引き上げなど新たな給付抑制・負担増をもたらす制度の見直しを行わない」ことなどを求めました。

## 介護“軽度者外し”やめて 民医連が国会要請行動

全日本民主医療機関連合会は24日、介護保険制度の改善と介護職行動を行いました。

全体会で報告した林泰則事務局次長は、政府が要介護1・2の「軽度者外し」ならさらなるサービス削減と負担増をねらっていることを指摘。「重度化を促進し、サービスとりやめをいっそう広げ

国会議員への要請で「介護ワープ」国会は、厚労省の審議会で介護保険制度の見直し

員の待遇改善を求める

ことになる。家族の負担を増大させ、政府が掲げる『介護離職ゼロ』にも真っ向から反するものだ」と批判

し、7月の参院選で審判を下すことが重要になつてくるとのべました。